

## 行政報告

### 農作物の生育状況について

今年の気象状況は、4月から5月中旬までは低温となり、5月下旬になって平年並みの気温に回復したところである。

6月1日現在の主な作物の生育状況は、秋まき小麦は「並」、てん菜及び牧草は「やや不良」となっている。これからの天候回復に期待したい。今後も、農業関係機関との連携のもと、適正な管理作業などの指導に万全を期していく。

### 十勝バイオマス産業都市構想について

このたび十勝地域がバイオマス産業都市の第一次選定地域として決定され、農林水産大臣から認定証が授与された。

十勝バイオマス産業都市構想は、管内19市町村が十勝の豊富なバイオマスを活用し、農・食・エネルギー自給社会の形成及びフードバレーとかちの実現を目指すものであり、バイオガスピロジェクトなどを推進し、十勝の魅力向上を図っていく。

## 条例の一部改正

### 常勤特別職員の給与に関する条例の一部改正

町長、副町長の期末手当の役職加算分及び寒冷地手当を平成25年度も継続して凍結する。

### 教育長の給与、勤務時間その他勤務に関する条例の一部改正

教育長の期末手当の役職加算分及び寒冷地手当を平成25年度も継続して凍結する。

### 清水幼稚園保育料等徴収条例の一部改正

通常保育終了後の預かり保育事業を新たに実施するにあたっての規定の追加。

### 保育所条例の一部改正

一時保育の利用条件を廃止し、保護者がリフレッシュ等をはかる場合でも利用可能とする規定の追加。

### 乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正

子どもの疾病の早期受診・治療促進を目的に、中学3年生まで医療費自己負担を全額助成する。

## 一般会計補正予算に 対する 討論



原案に賛成

修正案に賛成

●佐藤幸一議員

商業が冷え込むなか、2月の町長選挙の公約として、スポーツ合宿による経済活性化を掲げたことに、商業関係者は期待を寄せたところである。スポーツツーリズム協会への支援について、同協会は2年から3年間の補助金を要望しており、運営が軌道にのるまで町の支援は当然であり、今後、多くのチームが来町し、経済活性化が図られることを期待し、原案に賛成する。

●山岸政彦議員

町民有志によって設立されたスポーツツーリズム協会が事業を推進するとしており、1日も早い事業開始が必要である。今日の厳しい経済環境のなか、交流人口の拡大によって、商業・観光・物産事業の振興に結びつくと考えられる。合宿の目標人数を集めるのは容易ではなく、大変な努力が必要と思われるが、同協会の奮闘を期待して、原案に賛成する。

●木村好孝議員

事業の目的や内容から考えて、今後の町政執行の重要な柱として位置づけられているだけに、関係機関との合意形成のうえ、官民一体の推進を示すことが必要である。また、町観光資源再生基本構想との関連性や整合性が明確にされておらず、町民合意を得ていくうえで、より公正公平な補助金のありかたを遂行していくことも含めて提案すべきであり、修正案に賛成する。

●角川徳寿議員

交流人口を増やし、地域活性化を実現する趣旨により、事業が行われることに、反対するものではないが、事業を始めるにあたり、スポーツ団体や、観光・物産振興の面でも、商工会・観光協会など各団体と十分な協議が必要である。また、住民に対して十分な情報が公開されていない。民意が動いた後でも事業の実施は遅くないと考へ、修正案に賛成する。

●奥秋康子議員

スポーツツーリズム協会から町へ提出された要望書には、競技施設及び宿泊施設の整備計画があるが試算は示されておらず、将来的な事業構想がまったくみえない。経済効果の算出根拠も不明である。また、町が事業実績のない同協会に対して補助をすることに、町民へ情報公開し合意形成が必要であると考え、再考を願ひ、修正案に賛成する。

●西山輝和議員

スポーツツーリズム協会への補助金の使途の大半は人件費であり、補助金が事業費といっても過言ではなく、また、同協会が示す事業計画は具体性に欠けており、補助の決定過程に不信感を抱かざるを得ない。施設整備も将来町民にとって負担になるのは明らかである。町の資源や人材をいかす方法を時間をかけて検討すべきであると考え、修正案に賛成する。